

平成22年度 海難審判所 入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成22年11月26日(金) 運輸安全委員会 意見聴取室	
委員	委員長 重田 晴生 (弁護士) 委員 大住 莊四郎 (関東学院大学経済学部教授) 委員 渡辺 務 (弁護士)	
審議対象期間	平成22年2月1日～平成22年10月31日	
審議案件	3件	
【物品・役務】 一般競争入札	2件	鋼製引違い書庫28台ほか6点買入  平成22年度自動車運転業務
【物品・役務】 随意契約	1件	平成22年度電子複合機賃貸借及び保守
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	

別紙

一般競争入札	
意見・質問	回答
<p>[鋼製引違い書庫28台ほか6点買入]</p> <p>なぜ1者しか入札に参加しなかったのか。</p> <p>海難審判所で発行している刊行物があれば、入札公告を掲載することもできるのではないか。</p> <p>[平成22年度自動車運転業務]</p> <p>予定価格と落札価格でかなり差がある。これはおそらく落札業者がシルバー人材を活用しているためだと思うが、予定価格を定める際に年齢は考慮しないのか。</p> <p>シルバー人材の場合、落札価格が低くなる反面、体力面や安全性の確保という面で問題が出てくる可能性があると思うが、現在は問題ないのか。</p>	<p>入札説明書は複数の業者に配付したのですが、入札に参加したのは1者だけでした。当所のホームページにも入札公告を掲載したのですが、当所は入札案件がほとんどないので、ホームページを閲覧している業者は少ないのかもしれませんが、入札参加業者を増やすことは、今後の課題であると思っています。</p> <p>JMATニュースレターという刊行物を発行しているが、不定期に発行しているので、入札公告のタイミングと合わずに掲載できませんでした。</p> <p>仕様書で年齢条件を定めると、若い人材等を排除することになりかねないので、現在は考慮していません。</p> <p>特段問題ありません。</p>
随意契約	
意見・質問	回答
<p>[平成22年度電子複合機賃貸借及び保守]</p> <p>全国の事務所に各1台ずつ、合計9台の複合機を配備しているが、東京は1台で足りているのか。</p>	<p>現在のところ、1台で足りています。</p>